

平成 23 (2011) 年度

事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

公益財団法人九州盲導犬協会

福岡市中央区荒戸 3-3-39

福岡市市民福祉プラザ内

盲導犬育成事業<公益目的事業 1>

1. 視覚障害者に対する盲導犬の無償貸与と生活訓練等の実施について

(1) 盲導犬貸与事業

年度の育成貸与頭数は実績 6 頭にとどまり、6 ユニットの視覚障害者に対する歩行訓練及び盲導犬貸与となった。内訳は代替 5 頭、新規 1 頭

(貸与頭数の累計は 201 頭、タンデムを含む無償貸与者数は述べ 208 名)

(2) 盲導犬使用者（以下、ユーザー）に対するフォローアップ等の実施

- ・ユーザーからの年次報告にもとづき、盲導犬の健康状態の把握に努め期中 41 名のユーザーに対するフォローアップ 75 回を実施した。
- ・九州盲導犬協会友の会の総会（7 月）、学習会（10 月）等に参加してその活動を支援した。

2. 犬の飼育および訓練について

(1) 候補犬の訓練について

期中 50 頭の候補犬に対し貸与に向け訓練した。

(2) 繁殖について

- ・期中子犬 50 頭（当協会出産子犬 29 頭+他協会譲受子犬 21 頭）を確保した。
- ・平成 24 年 3 月末現在の繁殖犬総数は 17 頭（内訳 雄 3 頭、雌 14 頭）
- ・期中、繁殖犬飼育委託家庭 8 件に対し定期訪問 52 回を実施し、その健康管理と適切な飼育指導を行った。
- ・AGBN加盟協会との繁殖協力の維持・発展に努めた。

(3) パピーウォーキングについて

- ・期中 39 頭の子犬を飼育委託した。
- ・期中飼育講習会 28 回、飼育家庭訪問回数 67 回行い飼育指導に力を注いだ。

(4) リタイア犬について

期中の引退頭数 8 頭、期末の飼育委託頭数は 40 頭である。

(5) 犬舎管理について

ピーク時の管理頭数は 50 頭に達しており業務を円滑に行うため、ケンネルスタッフ 1 名を増員して犬舎の衛生管理および犬の健康管理に努めた。

3. 新規ユーザー獲得への取り組みについて

- (1) 福岡視力障害センター等で盲導犬使用に関する説明会及び体験歩行会を昨年引き続き実施するなど、盲導犬希望者の開拓に努めた。

- (2) 佐賀県視覚障害者団体連合会の視覚障害リハビリテーション事業等に講師を派遣し、視覚障害者への情報提供に努め、盲導犬利用を働きかけた。

4. 訓練グループ職員の技術向上について

- (1) 視覚障害リハビリテーションの研修会・各種セミナー等に職員を派遣して、技術・資質の向上に努めた。
- (2) 毎日の業務報告・連絡・相談を通して課題の発見及び解決を図ることによって、職員の技術と資質の向上に努めた。

5. 行政、各種団体およびボランティア関係各位との関係づくりについて

- (1) 各関係機関との連携及び情報交換により、事業の円滑な運営に努めた。
- (2) 盲導犬医療特別措置について
福岡県獣医師会はじめ各地区獣医師会及び各動物病院の協力を受けて、本年度も継続実施することが出来た。

普及啓発事業＜公益目的事業2＞

1. 普及啓発事業の推進について

普及啓発の担当職員を任命し、事業の推進を図った。

2. 普及啓発活動について

- (1) 九州運輸局との共同によるバリアフリー教室開催、各種学校・団体の協力による盲導犬普及啓発、各地区ライオンズクラブとの街頭募金活動等を通じて普及啓発活動を行った。
- (2) ボランティアの皆様方の協力を得て、RKBラジオ祭り他各地で開催された健康福祉祭り・動物愛護祭り等の各種イベントに参加した。又、ダイエー補助犬ふれあい教室等で補助犬の普及啓発に努めた。
- (3) ユーザー各位の協力を得て、小中学校における盲導犬総合学習の講演・体験学習を実施し、盲導犬を主体とした補助犬の普及啓発に努めた。

3. 総合訓練センター見学会について

- (1) 定例見学会を毎月1回（12月・2月除く）開催し、年間延べ437名が来所した。
- (2) 定例見学会の他26団体の団体見学会を実施し、総合訓練センターの施設の紹介及び盲導犬の普及啓発を図ることができた。総来所者数は合計1,120名であった。

4. 広報活動について

- (1) 協会報（ハーネス九州）を福岡県共同募金会からの配分金 80 万円に基づき、年 2 回（3 月、8 月）各 10,000 部発行した。福岡県、福岡市など関係機関の窓口に配布を行うとともに、ボランティアの皆様の協力を得て広報に努めた。
- (2) ホームページを通して、協会の事業案内や盲導犬育成状況の紹介などタイムリーな情報の発信に努めた。
- (3) 各マスメディアにプレスリリースを配信し、取材の協力・誘致に努めた。

5. 相談業務について

総合訓練センターを相談窓口として補助犬に関する相談や問い合わせに対応した。

6. 財政基盤の拡充について

- (1) 募金箱の設置ならびに管理について
既設募金箱の設置先との関係づくりに努めるとともに、新規設置を推進したが、東日本大震災等の影響もあり、期末設置先数は 1,200 先（前期増 100 先）であった。
- (2) 賛助会員の新規会員増加について
平成 22 年 5 月の公益財団法人の移行に伴い、スタートした賛助会員制度による会員数はホームページ等により会員加入を推進したが、前期末会員数 130 件から今期末 250 件と増加しているものの、更なる努力が必要である。
- (3) ローコスト経営の推進について
各職員にコスト意識を徹底した。

7. 盲導犬アトム号の失踪について

平成 24 年 1 月 23 日長崎県内において貸与中の盲導犬アトム号が失踪し、関係者並び多くの皆様方に、ご迷惑とご心配をおかけいたしておりますことを深くお詫び申し上げます。

3 月末現在、アトム号は発見されていませんが、今後とも引き続き、発見・保護に皆様のご協力をお願い申し上げますと共に、盲導犬貸与規程の厳正な運用など再発防止に全力で取り組んで参りますので、ご指導・ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

管 理 部 門

1. 理事会・評議員会の開催状況について

(1) 理事会を次のとおり4回開催いたしました。

開催年月日	主な決議事項等
平成 23 年 5 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度事業報告及び財務諸表について ・顧問選任について ・評議員会の開催について
平成 23 年 7 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・代表理事選定について ・退職金規程改定について
平成 24 年 2 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・盲導犬アトム号の失踪について
平成 24 年 3 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の開催について

(2) 評議員会を次のとおり2回開催いたしました。

開催年月日	主な決議事項等
平成 23 年 6 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度事業報告及び財務諸表について
平成 24 年 3 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度事業計画及び収支予算について

2. 職員に関する事項について

職員在籍状況

平成 24 年 3 月 31 日現在

部 署	職 種	職 員 数	パ ー ト
事 務 局	管 理 ・ 事 務	※3 名	—
総合訓練センター	管 理 ・ 事 務	2 名	1 名
	訓練士・ケネルスタッフ	8 名	5 名
計		13 名 (前期±0)	6 名 (前期+1)

※3 名 (常勤理事 1 名含む)